

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	令和5年11月2日（木） 午後6時～午後8時
開催場所	大野市民センター 大会議室
会場責任者	赤平 勇人
記録者	工藤 夕介、山田 千里
出席議員	赤平 勇人、工藤 夕介、木戸 喜美男、小豆畑 緑 関 貴光、山田 千里、竹山 美虎、中村 美津緒
参加者数	2名
報告内容	令和5年第3回定例会の主な出来事
意見交換内容 (意見の要旨)	<p>テーマ：地球温暖化対策について</p> <p>【①地球温暖化の影響について感じていること】</p> <ul style="list-style-type: none">・多方面で影響が出ている。特に今夏の暑さは漁獲量、桜の開花、クマの出没など。ハワイの大規模な山火事も温暖化に起因しているのではと懸念。・気温上昇を1.5度より低く抑えるという国の政策では生ぬるいのではないか。・具体的な対策を政策に落とし込んでほしい。・夜越山スキー場の芝生が雨不足と猛暑で枯れてしまった。・平内町のキャンプ場での熊の出没が有線放送で毎日のように流れている。餌がないためか、町中の駅前でもクマ、ニホンシカ、サルが出没している状況。・来年はホタテの稚貝が取れないのではないかと、漁師の友人から実態として聞いている。・熱中症問題、今後の子どもたちの生活面での影響が心配。 <p>【②行政に対して求めること】</p> <ul style="list-style-type: none">・地球温暖化を止めるために、できることを市としても様々取り組んでほしい。・CO2減少目標まで何パーセントなどの情報をホームページなどで可視化すべきではないか。・役所に太陽光パネルを設置するなど、ハード面でもソフト面でも温暖化対策を提言していると市民に知らしめていくことが必要なのでは？・「気候市民会議」などを開き、どういうところに何が必要か、市民の

	<p>視点から見て話し合うことが有益な施策につながるのでは？政策への反映も期待できると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへの教育の中で温暖化対策に取り入れる一つとして、「断熱ワークショップ」の開催を提案。実績としてエネルギー削減効果が立証されている。県内にも広めて、全ての学校に断熱対策を希望する。光熱費対策に効果が期待できる。子どもたちに効果的で、関心を高めることにつながる。 ・筒井小学校の断熱は省エネ基準にはなっていないが、水準は低い。 ・新校舎になる筒井小学校に太陽光パネルが設置されなかったことは残念。できることが実施されていない。できるところから、ゼロカーボンシティ宣言をしていくべき。 ・京都では工務店が太陽光パネル設置について説明することが市民に対する義務となっている。導入してみてもどうか。 ・アルミサッシから木製サッシへの転換が必要。青森ブランド地産地消につながるのでは。 ・体育館にエアコンがない学校がほとんどのため、猛暑の際、体育館で体育の授業ができなくなるのでは。エアコンを設置すべき。 ・子どもたちが自由に使用できる施設（青少年の家など）がほしい。 ・仙台市にあるような子どもたちの声が聞こえる公園がほしい。 ・冬場の遊び場がない。 ・市民会議で声を聴いたらどうか。
<p>記録者所見</p>	<p>参加者は2人と少なかったものの、日ごろから温暖化対策についての活動をされている方とボランティア活動をされている方の専門的な御意見と市民生活の中で感じる青森市政への対策の弱さなどを指摘していただき、とても有意義な意見交流ができたと思います。</p> <p>地球環境問題は、スケールが大きく、多岐にわたりますが、大半は、身近な問題と密接につながり、今回の意見交換で触れた内容もほとんどが地球環境問題に帰結し、前向きな議論ができた充実した集いであったと思います。</p>

※写真添付必須のこと

青森市議会議長 様

令和5年11月30日

上記のとおり報告いたします。

会場責任者 赤平 勇人

